

鹿野川ダムの基礎岩盤処理について

建設省鹿野川ダム工事事務所

要 旨

徳 田 秀 雄

鹿野川ダム工事は昭和 31 年 6 月に着工し昭和 33 年 10 月末迄にダム本体コンクリート約 $158,000\text{m}^3$ (全体 $162,000\text{m}^3$ 中) を打設して居る、昭和 33 年 10 月 30 日にダム堤体内に設けた排水路を閉塞して中間湛水を開始し、11 月 4 日には発電可能な最低水位 (EL 72^m 貯水量 $18,000,000\text{m}^3$) 迄貯水する事が出来た。

オ 9 回講演会に於て「鹿野川ダム概要と二三の向題について」と題して計画概要を説明したが、今回は基礎岩盤処理について説明致します。

基礎岩盤処理の目的は、ダム構造物によって生ずる応力に対照して強固で水密性な固結した基礎を造成する事は申す迄ありませんが、鹿野川ダムに於て施工した基礎処理について述べ、併せて、基礎岩盤よりの湧水試験の為試みた方法について報告したいと思う。